

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	函館市教育委員会	代表者名	藤井 壽夫		
担当者部署	学教教育部	連絡先電話番号	0138-21-3553		
担当者役職	主査	担当者氏名	倉橋 基幸	連絡先E-mail	*****
住所	040-8666 北海道函館市東雲町4-13				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	藤村 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	GIGAスクール構想の目的や意義について、現在の日本の情報教育の現状を諸外国の状況と比較するなどしてわかりやすく説明していただくとともに、GIGAスクール構想の実現のための教育環境の整備や教員の資質・能力の向上、授業改善の向けの方策等について、先進事例や構造図等を提示して、研修に参加した教員がイメージしやすい形で講義していただいた。また、問題解決学習から問題発見・解決学習へと発展させることで、授業において、個別最適な学び・協働的な学びの充実が図られることを助言いただいた。
アドバイザーへの要望事項	特記事項なし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年6月16日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			13時35分	17時00分	10
				活動時間（分）	195
3-2. 派遣場所	会場名	函館市立あさひ小学校	最寄駅	JR函館駅	
	所在地	函館市大森町6-11	最寄駅からの交通手段	車	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	教職員	47人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	1人1台端末の配備後、教職員および児童の端末操作等のスキルが向上しているとともに、学習用具として日常的に活用するという考えが浸透してきていることから、今後、学習指導（授業）において、端末を効果的に活用することによる主体的・対話的で深い学びの実現に向け、児童同士や教師とやり取りする場面や、考えをまとめ表現する場面での活用の充実を図っていく必要がある。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	問題発見・解決能力を向上させるための児童主体の授業づくりを目指し、そのための手立てや道具として、1人1台端末を効果的に活用し、個別最適な学びや協働的な学びの充実を図っていく。また、講義での助言や紹介いただいた先進事例を参考に、本研修会を合同開催した3校で連携・協力して推進していく。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	1人1台端末をはじめとするICT機器の活用は、「基礎学力」であるとの認識のもとことや、ICT機器を活用しやすいような教室環境や座席配置等を工夫すること、ICT機器を文房具と同じように使用することの必要性について助言いただいた。また、子どもたちには「学び方」をしっかりと教え、必要な学び方を自ら選べるように育てていくことが重要であるとともに、児童が適切な判断力を身に付けられるような指導が必要であることについてご教示いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	ICT活用に関する日本と諸外国の状況を比較しながら、わかりやすく説明いただいたことにより、日本はICT後進国であるという現状を理解することができ、子どもたちの未来はもとより、日本全体にとって、GIGAスクール構想を推進することの重要性を教職員全体で共通理解を図ることができ	

	た。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	個別最適な学び、協働的な学びの充実に向け、問題・発見解決学習の実践、問題発見の4つの方法を取り入れた授業の構築等を学校全体で取り組んでいく必要がある。ICTの効果的な活用については、まだ不十分のところも多いことから、今回ご指導いただいた内容を継続して研究・実践していきたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別紙参照	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	1人1台端末を効果的に活用した主体的・対話的で深い学びの実現として、児童同士や教師とやり取りする場面や、考えをまとめ表現する場面での活用の充実を図る。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



